

令和7年度 第1回子ども・子育て会議 会議録

- 日 時 令和7年6月25日(水) 10:00～11:10
- 会 場 沼田市役所 防災会議室 401
- 出席委員 井口委員、井上委員(会長)、上原委員、大岡委員、尾崎委員、櫛渕委員、久保委員、黒岩委員、塩野委員、高橋委員、中澤委員
- 欠席委員 小尾委員、郷津委員、小寺委員、山崎委員
- 事務局 (こども課) 阿部課長、綿貫こども家庭センター長兼統括支援員、小菅保育係長、伊藤こども相談係長、大島子育て支援係長(健康課) 鈴木課長、宇敷保健係長
- 傍 聴 なし
- 配付資料 ・事前配付資料 資料1
・当日配布資料 次第
委員名簿
沼田市こども家庭センターについて

司会：阿部課長

1 開 会

事務局 それでは、会議を始める前に本年度第1回目の開催であるため、委員の皆様
に自己紹介をお願いしたい。
(出席委員、オブザーバー自己紹介)

事務局 事務局からも、新しく担当となったものがあるため、自己紹介をしたい。
(健康課長、こども家庭センター長、健康課保健係長、保育係長、こども相談
係長、子育て支援係長自己紹介)

2 あいさつ

会 長 近年、少子高齢化が進んでいる。沼田市の状況を見ても、毎年産まれてく
る子どもが200人足らずということで、少子化が非常に進んでいること
がわかる。これは全国的な状況である。生まれてくる子どもが少ない中で、
社会的に子どもを育てることについて難しい時代になっており、今後も先
が見えない状況が続くと思われる。しかし、子どもを育てなければ、この先
日本が危ない状況が来るのではないかな。

それらの状況を踏まえながら、この会議についても十分理解いただき、意見等があれば遠慮なく発言をいただきたい。本日はよろしくお願いいたします。

事務局 それでは、会議次第3の議事に移らせていただくが、以降の進行については、井上会長にお願いしたい。

3 議事

進行：井上委員

(1) 第2期沼田市子ども・子育て支援事業計画の令和6年度実績報告について

保育係長・子育て支援係長・保健係長・こども相談係長

委員の皆様にお渡ししてある、第2期子ども・子育て支援事業計画書の30ページから38ページの事業の実施状況について、毎年度、委員の皆様へ進捗状況をご報告させていただき、点検・評価を行い、施策の改善や強化につなげている。本日は令和6年度の実績についてご報告をさせていただく。

※資料1により説明

会長 説明の中で何かご質問があればお願いしたい。

委員 利用者支援事業や地域子育て支援拠点事業、延長保育等の利用実績は確保の実績とイコールなのか。一時預かり事業の実績は利用者数になるか。

事務局 確保の実績とイコールであり、一時預かり事業の実績は年間の延べ利用者数である。

委員 養育支援訪問事業、子育て短期支援事業は沼田市では行っていないとあるが、ニーズ量の見込みはある。このところについてはどうなっているのか。

事務局 社会福祉課で実施している事業を利用している方の人数からニーズ量を想定して算出している。現時点で対象者がいた場合、社会福祉課で実施している事業を利用いただいている状況である。

委員 ニーズがあり、事業未実施であっても問題ないということか。

事務局 そのようになる。

委員 子育て短期支援事業に里親とあるが、沼田市で里親はどのくらい増えているのか。

事務局 里親は県の事業になる。5名以内の人数になると思われる。

会長 そのほかに、何かご意見やご質問があるか。

～質問なし～

(2)第3期沼田市子ども・子育て支援事業計画の概要について

子育て支援係長 ※第3期沼田市子ども子育て支援事業計画書により説明

- ・国の方針に基づき第3期計画を策定。
- ・沼田市の子ども・子育てを取り巻く状況について、統計や推計、ニーズ調査等から掲載。
- ・事業計画、計画の推進体制、進行管理等を掲載。

会長 説明の中で何かご意見、ご質問があればお願いしたい。

委員 57ページの病児保育事業について、実績を踏まえて計画を作られていると思う。他の事業のこれまでの実績は、計画よりも実績の方が少ないことから「確保されている」ということかと思うが、病児保育については6年度までは実績の方が計画を上回っているという見方でよろしかったか。確保されていないということになるのか。また、第3期の計画を見ると相当数増えている印象。充実を図った結果であるのか。

事務局 体調不良児対応型について、令和5年度から1施設から2施設に増えた経過があり、2期と3期の計画の数値に差があるのはこのためである。確保の実績については、来年実績で確定していくことになると思うが、ニーズ量については人口推計、利用者数から算出している。最終的には利用した人数を確保できている状態にある。今後ニーズ量との乖離がある場合、必要に応じ中間で見直しを検討していきたい。

委員 充実を図っていただいて、体調不良児対応型の施設が1施設増えたことにより、沼田市のお子さんは十分に病児対応として預かっていただける状況になったということでしょうか。

事務局 そのようになる。

会 長 そのほかに、何かご意見やご質問があるか。

～質問なし～

(3) 沼田市こども家庭センターについて

こども家庭センター長 ※資料「沼田市こども家庭センターについて」により説明
・令和4年6月の児童福祉法の改正により、こども家庭センターの設置が努力義務化された

・既存の「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」を一体化し、妊産婦・子ども・子育て世帯に対して、切れ目のない支援を行う総合相談支援窓口として、令和7年4月1日こども課内に「沼田市こども家庭センター」を設置

・必要な資格を持ち、こどもに関する専門的な研修を受講した、計12名の職員体制で対応

・気になる家庭やこどもがいたら、こども家庭センターにつなげていただきたい

会 長 説明の中で何かご意見、ご質問があればお願いしたい。

会 長 業務の中でヤングケアラーとあるが、家庭の事情により、昔はどの家庭でも家の仕事を担っていた。どこからヤングケアラーとなるのか。

事務局 ヤングケアラーと手伝いの境目として、家の手伝いをすることによって学校に行けないなど、こどもの行動が制限されてしまうことが生じた場合にヤングケアラーとして捉えさせていただいている。

委 員 定義はあるのか。

事務局 しっかりとした定義はない。

会 長 そのほかに何かあるか。

委 員 資料にある「リーフレット」の周知や配布先はどのようになっているのか。

事務局 ホームページに掲載しているほか、民生委員主任児童委員へ地区の方で該当者がいたらつないでいただくよう依頼をするとともに、母子手帳の交付の際に相談窓口としてチラシを配布している。保育園、幼稚園、学校へも周知をしている。

委員 ワンストップで相談できる体制を各市町村で行っているとのことで非常にありがたい話。7年度から始まった事業であるが、ワンストップで相談を行うことや普及活動をすることにより相談件数の変動はあったのか。相談件数はどのくらいか。

事務局 児童福祉の相談窓口として年間 3,000 件くらいの相談件数がある。今年度母子保健と一緒になったことにより増えていると感じているが、より丁寧に関わることができるようになったことや早期にリスクを捉えられるようになったため、件数では現れていないが効果はでていると思われる。

会長 そのほかに、何かあるか。

～質問なし～

4 その他

会長 他に何かあればお願いしたい。

委員 今後の会議の計画、沼田市として会議の活用、考え方を教えてもらいたい。

事務局 委員の任期が2年であり10月末で満了となる。今後については、子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について、毎年度実績報告をさせていただき意見をいただく形式で進めさせていただきたい。この会議は、そのほかに施設等に関係する認可を市が行わなければならないとき、認可の申請が出た際には、委員の皆様からご意見をいただく機会もあるかと思う。

その他、今回策定された計画の期間が5年であるため、5年後、計画を見直す時期となるが、引き続き子ども・子育て支援事業計画として定めるのか、または、国の方で、こども計画という子どもの意見を取り入れながら計画を定めていくような方向へ進めているため、今後はこども計画の方に変えていくことも検討していく必要がある。こども計画は、子ども・子育て支援事業計画よりも広い範囲で計画を定めていくことになるため、会議の機会が増えることも考えられる。

会 長 他に何かあればお願いしたい。

委 員 こども誰でも通園制度は令和８年度から始まるとのことであるが、認可になって今年度事業者に募集をかけるということになるか。

事務局 現在も緊急の場合には一時預かり事業やファミリーサポートセンター事業などでお子さんを預かる事業というものがある。こども誰でも通園制度はそのような理由を必要としない０歳から２歳のお子さんを家庭でみている方が自由に申し込んでご利用いただく事業となる。保育士の確保や他の事業との兼ね合いもあることから、事業者の方に意向調査を行い、相談をさせていただく予定。

委 員 今後、事業者に意向調査を行い、その後事業を進めていくということでしょうか。

事務局 そのようになるが、令和８年度から実施する事業となるため公立で実施するかどうかも含めて、決まり次第広報などでお知らせしたい。

会 長 このほかに、何かご意見やご質問があるか。なければ事務局から。

事務局 今年度委員改選の年となる。委員の皆様には大変お世話になった。次回の会議については、新委員決定後の１１月に開催を予定している。